



連載
企画

全国健康福祉祭
 みんなでねんりんピックを盛り上げよう！

第2回 石狩市ボランティア連絡協議会のチーム力

昨年、創立25周年を迎えた石狩市ボランティア連絡協議会。その活動を振り返ると、イベントだけでなく「ふれあい広場いしかり」、「高齢者・身障者スポーツ大会」や「はまなす国体」でのお手伝いなど枚挙にいとまがありません。

そんなこれまでの実績や経験を「ねんりんピック北海道・札幌2009」大会でももちろん発揮していただきます！会場のスポーツ広場に設置される中央接待所へおもてなしコーナーで、全国から来る約千人の選手や審判、記録員の皆さんなどにお茶や石狩鍋など地元の味を配ったり、試合の応援に駆けつけたりと、大忙しの3日間になりそうです。



石狩市ボランティア連絡協議会の皆さん。ねんりんピックでは、約30人ほどのメンバーがお手伝いします。

ところで、下の写真は石狩のシンボル「石狩灯台」を携帯ストラップで再現したもので、ねんりんピック参加選手に記念品として贈呈します。フェルト生地で二つ手作りする予定で、石狩市ボランティア連絡協議会の皆さんにも製作にご協力いただきませんが、市民の皆さんにもぜひお願いできればと思っています！その製作講習会を開催し

ねんりんピック参加者への記念品づくり 「石狩灯台ストラップ」製作講習会

丸形のフェルトの中心に糸を通して灯台の形を作る、ちょっと細かい手作業にあなたも挑戦してみませんか？

対象 市民

日時 6月16日(火) 10:00～12:00

場所 りんくる

定員 50人(先着順)

持ち物 裁縫道具(針、針刺し、はさみ)

費用 無料

講師 jijibubuma(ジジブマ)主宰 石川 可愛氏 申込締切 6月10日(水)

申込・問合せ ねんりんピック担当 ☎72-3640



ねんりんピック参加選手への記念品「石狩灯台ストラップ」。皆さんも製作にぜひご協力ください！



ますので、腕に自信のある方もない方(?)も、ふるってご参加ください！

全国から来る皆さんを、最高の笑顔でおもてなしします！

石狩市ボランティア連絡協議会は、さまざまな活動をしている16の市民団体からなる組織です。私自身、もともと町内会の「すみれ会」という大正琴の会に入っていて、当時10人くらい仲間ができたものですから「この力をもっとどこかで生かしたいね」ということになり、平成5年から同協議会に入っていたのがきっかけでした。

これまでいろんなボランティア活動に参加してきましたが、中でもやっぱり思い出深いのははまなす国体。このときは民泊といって、市民が自宅を宿泊先として提供しまして、我が家にも埼玉県チームの監督さんとコーチが泊まりました。以来、今でも年賀状のやりとりが続いていて、私にとつて埼玉県は北海道と同じくらい、特別な存在です。それに、大会期間中は雨の日だろうと応援に行つて、選手たちから元気をいただいたものです。

今回、再びねんりんピックという大きな大会をお手伝いできるのはとても楽しみ。私たちその運営メンバーの一員として、誇りをもって参加したいと思います。笑顔をモットーに、私たちが「チームいしかり」として頑張るつもりです。

市民の皆さんには、まずは一人でも多くの方に試合に足を運んでもらいたいですね。それが今大会の一番の目的だと思いますので。



石狩市ボランティア連絡協議会会長
 松原 愛子さん



男女共同参画

6月23日～29日は男女共同参画週間です。

平成21年度「男女共同参画週間」の標語 「共同参画 新たな社会のパスワード」

**男女の性別だけで
決めつけていることは
ありませんか？**

「看護師や保育士は女、航空整備士や運転手などは男」、「男は外で働き、女は家庭だけで働く」といったように、仕事や家庭、地域の中で「これは女性」「これは男性」と役割を決めつけていることはありませんか？

このような決めつけや思い込みが、相手を傷つけたり、差別につながったりすることがあります。

一人ひとりが自分の持つ個性や能力を十分に発揮して、自分らしく生き、対等な立場でお互いの人格を尊重し、ともに支えあっていたいものです。

職場で、学校で、地域で、家庭で、男性も女性も、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」。その実現のためには、皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。この機会に私たちの周りの、男女のパートナーシップについて考えてみませんか？



自分の夢を実現し、
男女の隔たりなく活躍

えるむの森保育園 保育士
越智 洋介 (28歳) の場合

**女性が多い職場ですが、
そのことに對する不安や葛藤は？**

最初のころは不安でした。保護者に「男性で大丈夫？」と思われているような気がしていました。職場の皆さんの理解と受け入れてくれる雰囲気があるので、今はいきいきと仕事をしています。

仕事で楽しい、充実していると感じることは？

集団生活のルールや善悪を教えるときなどは難しいこともありますが、子どもと一緒に何かをやり遂げたときに充実していると感じます。子どもとかかわっていられることが本当に楽しい。一日中こんなに笑顔でいられる仕事はほかになくと思います。子どもから「大きくなったら洋介先生になる」と憧れを持たれるのが一番うれしいですね。



「いろいろな知識や経験を積んで、たくさんの人とかかわっていくことで、さまざまなことを保育につなげていければ」と越智さん。

男性であるために苦労したり、困ったことは？

声の低さや背の高さでおびえてしまうのか、赤ちゃんには泣かされてしまいます。それから男性嫌いの女の子にも…。0～2歳児は排泄や着替えの介助が必要なので、保護者によっては抵抗があるかもしれないというのを常に心掛けながら接しています。

男女共同参画社会についてどう考えますか？

現実的には男女のギャップがあると思います。でも、性別による偏見や差別のない社会になれば、職業の選択は広がっていくと思うので、みんなが意識していくことが必要だと思います。

関連
コーナーも
いろいろ！

期間 6月23日(火)～28日(日)

場所 市民図書館エントランスホール

●パネル展

テーマ 「ワーク・ライフ・バランスの希望と現実」
「男女雇用機会均等法制定から20年
ー働く女性をめぐる状況ー」

●ビデオ上映

内容 「ワーク・ライフ・バランスを知っていますか？」
「まちづくりにかける元気な女性たち」

●本の特集展示

男女共同参画や女性に関する書籍を紹介します

●寄せ書きコーナー

「我が家は家事を夫婦で分担」「女子だって野球部に入りたい!」「ボクは子どもと遊ぶの大好きだから保育士になる」など、男女共同参画はあなたの日常にたくさんあります。普段思っていることを書いてみませんか。